

VoIP告知端末Ⅲ

ユーザーズ マニュアル



- 本書には製品を安全にご使用していただくための注意事項が書かれています。ご使用になる前に必ずお読みください。
- ご使用になる間は、本書を製品の近くに保管しいつでもご活用できるようにしてください。

目次

安全上のご注意	3
---------	---

はじめに

1. 本書の目的	5
2. 梱包内容のご確認	5

I章 装置概要

1. VoIP告知端末Ⅲとは	6
2. 各部名称とはたらき	7
3. 機器の接続	8

II章 操作方法

1. 一般操作	10
2. 各種サービス	12
2-1 告知放送サービス	12
2-2 IP電話サービス	12
2-3 端末監視サービス	12

III章 組み立て方法（オプション）

1. 壁掛け	13
2. 自立	15
2-1 壁掛固定板の中心に設置する場合	15
2-2 壁掛固定板の端に設置する場合	16

付録

1. 故障かな?と思ったら	17
2. 仕様一覧	18

必ずお読みください

安全上のご注意

この「安全上のご注意」には、お客様への危害や財産への損害を未然に防止する為に守っていただきたい事項を示しています。

本商品をご使用前に、本文をよくお読みいただき、正しくご使用ください。

●お読みになったあとは、いつでも見られる場所に必ず保管してください。



警告

次の項目を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

- WAN、LANポートへはLAN機器以外接続しないでください。ISDN、電話回線等を接続すると火災、故障の原因となることがあります。
- 本装置はAC100V電源で使用してください。その他の電源では使用しないでください。火災・感電・故障の原因となります。
- 開口部から内部に金属類を差し込んだり、落としたりしないでください。火災・感電・故障の原因となります。
- 本装置を分解・改造しないでください。火災・感電・故障の原因となります。
- 本装置の上や近くに花瓶、コップ、化粧品、薬品、植木鉢など、水類の入った容器または、小さな金属類を置かないでください。こぼれたり、中に入った場合、火災・感電・故障の原因となります。
- 内部の点検・修理は、指定の問合せ窓口または弊社サービス部門、販売店などに依頼してください。
- アースは必ず接続してください。万一漏電した場合に、火災や感電の原因となることがあります。
- 付属のACアダプタ以外を使用しないでください。火災・感電・故障の原因となります。
- 濡れた手で、電源プラグを抜き差ししないでください。感電の原因となることがあります。
- 電源プラグはコンセントに確実に差し込んでください。電源プラグの端子に金属などが触れると、火災・感電・故障の原因となります。
- タコ足配線はしないでください。火災・過熱の原因となります。
- ACアダプタのコードに重いものを載せたり、加熱したり、引っ張ったりしないでください。コードが破損し、火災・感電の原因となります。
- 近くに雷が発生したときは、電源プラグをコンセントから抜いて、ご使用をお控えください。落雷によっては、火災・感電・故障の原因となります。
- 万一、内部に水などが入った場合は、すぐに電源プラグをコンセントから抜いて、指定の問合せ窓口または弊社サービス部門、販売店にご連絡ください。そのまま使用すると、火災・感電・故障の原因となります。

- 煙が出ている、悪臭がするなどの場合は、すぐに電源プラグを抜いて、煙が出なくなることを確認して、指定の問合せ窓口または弊社サービス部門、販売店に修理をご依頼ください。そのまま使用すると、火災・感電・故障の原因となります。
- 万一、本装置を落としたり、破損した場合は、電源プラグをコンセントから抜いて、指定の問合せ窓口または弊社サービス部門、販売店にご連絡ください。そのまま使用すると、火災・感電・故障の原因となります。
- 電源プラグのほこりなどを定期的に清掃してください。プラグにほこりがたまると、湿気などで絶縁不良となり、火災の原因となります。1年に1回は電源プラグを抜き、乾いた布などで拭いてください。長時間使用しないときは電源プラグをコンセントから抜いてください。



注意

次の項目を無視して、誤った取り扱いをすると、人が障害を負う可能性が想定される内容および物的障害のみの発生が想定される内容を示しています。

- 調理台や加湿器の側など、油煙や湯気が当たるような場所および、ちり、ほこりの多い場所には置かないでください。火災・感電・故障の原因となることがあります。
- ぐらついた台の上や、傾いた所など不安定な場所に置かないでください。落ちたり、倒れたりして、けがの原因となることがあります。
- 直射日光が当たる所や、湿度の高い所には置かないでください。内部の温度が上がり、火災・故障の原因となることがあります。
- 水滴がついたら乾いた布で拭き取ってください。内部に入ると、火災・故障の原因となることがあります。
- 本装置の通風孔をふさがないでください。通風孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災・故障の原因となることがあります。
- 電源プラグを抜くときは、必ずプラグ本体を持って抜いてください。電源コードを引っ張るとコードが傷ついて火災・感電の原因となることがあります。
- 移動させる場合は、電源プラグをコンセントから抜き、回線コードなど外部の接続線ははずしたことを確認の上、行ってください。コードを引っ張るとコードが傷つき、火災・感電・故障の原因となることがあります。
- 落下させるなどの強い衝撃を与えないでください。
- 接続されているケーブルを強く引っ張らないでください。故障の原因となることがあります。
- お手入れの際は安全のために、電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。
- 本体を清掃するときは、水を含んだ布をかたく絞って拭いた後、柔らかい布で乾拭きしてください。揮発性のあるシンナーやアルコール及びシリコン系クリーナーなどの使用は絶対にさけてください。変色、変形、破損の原因となることがあります。

はじめに

1. 本書の目的

本書はVoIP告知端末Ⅲの取り扱いについて記述したものです。

2. 梱包内容のご確認

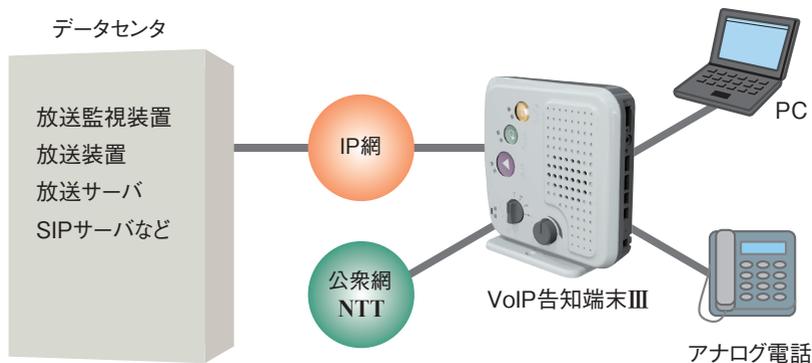
- (1) 本体……………1台
- (2) ACアダプタ……………1個
- (3) 電話機コード ……1本

I 章 装置概要

1. VoIP告知端末Ⅲとは

IPネットワークを利用して、センタ内の放送装置からの告知放送を受信し、放送する端末です。留守録機能、端末監視装置への連絡機能を保有しています。

- 放送装置から同時に複数の番組(最大4CH)の放送を聴取することができます。(番組放送機能)
- あらかじめ決められた登録先(職員・災害時要援護者など)への情報伝達・確認機能として活用できます。(上り通信機能)
- 地域内にあるサーバに接続し、IP電話環境を提供することができます。
- プロバイダのIP電話サービスを利用できます。
- 端末装置はルータ機能を有しているので、HUBを用いれば複数のパソコンで同時にインターネットが利用できます。
- 連絡ボタンを押下することで、緊急通報としてセンタに通知されます。

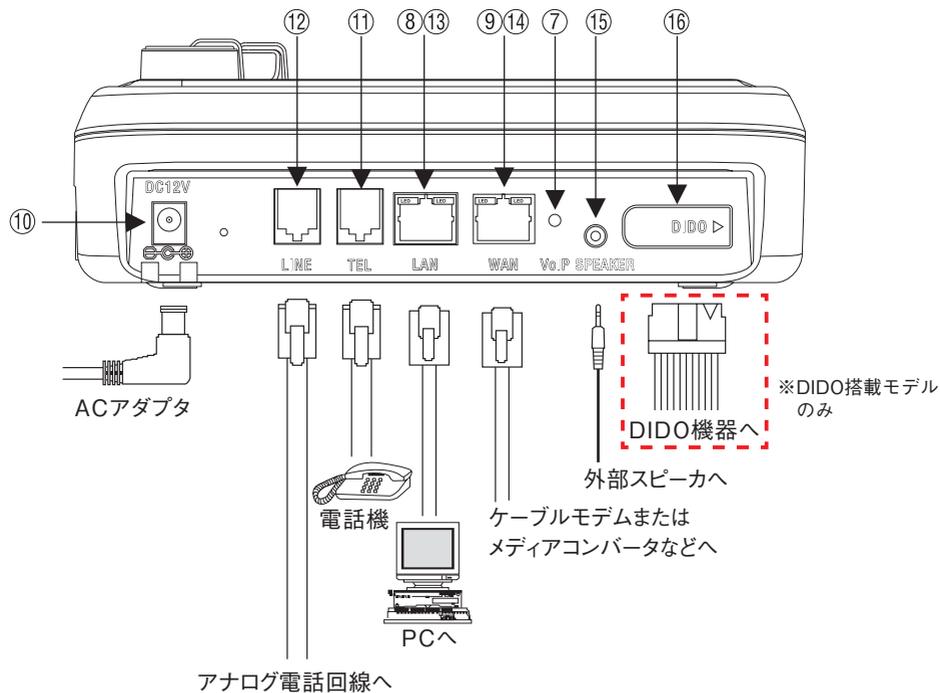


2. 各部名称とはたらき



本体上面図

3. 機器の接続



本体背面図

表1.1

	番号	名称	機能	点灯色
ボタン・つまみ	①	連絡	点滅：ボタン押下指示があったときに押下します 消灯：非常時に緊急信号を送信できます	オレンジ
	②	録音	点灯：放送を録音します 消灯：待機中	緑
	③	再生	点滅：録音されている放送があります 消灯：待機中	赤
	④	音量	音量を8段階で調節します 左：音量小 右：音量大	—
	⑤	チャンネル	番組放送を4チャンネル選択できます	—
LED	⑥	電源	点灯：電源ON(給電時常時点灯) 消灯：電源OFF	緑
	⑦	VoIP	点灯：VoIP使用可能 点滅：VoIP通話中 消灯：待機中	緑
	⑧	LAN	点灯：LINKアップ 点滅：データ送信中 消灯：LINKダウン	—
	⑨	WAN	点灯：LINKアップ 点滅：データ送信中 消灯：LINKダウン	—
コネクタ	⑩	DC 12V	付属品のACアダプタを接続します	—
	⑪	TEL	アナログ電話機を接続します	—
	⑫	LINE	アナログ電話回線と接続します	—
	⑬	LAN	カテゴリ5以上のケーブルでPCと接続します	—
	⑭	WAN	カテゴリ5以上のケーブルでネットワークおよびHUBと接続します	—
	⑮	SPEAKER	市販の外部スピーカーと接続します	—
	⑯	DIDO	接点機器と接続します ※DIDO搭載モデルのみ	—

II章 操作方法

1. 一般操作

<端末操作>

● 音量を変える

- ・音量つまみにより、8段階の音量調節を行うことができます。
(右に回すと音が大きく、左に回すと音が小さくなります。)

● チャンネルを変える

- ・チャンネル切替つまみにより、4つの放送チャンネルに切替えることができます。

● 放送を録音する

- ・緊急放送または放送装置で指定した放送を自動で録音します。
- ・指定された放送以外の放送も録音したいときは、録音ボタンを押下し、録音ランプ(緑)を点灯させてください。また、放送中録音ボタンを押下しても、放送を録音することができます。
- ・最大8件(最大録音時間:10分)放送を録音することができます。
ただし、最大録音時間を超えると一番古い放送より自動的に消去していきます。
- ・一つの放送で最大録音時間を超える放送があったときは、最大録音時間で録音を停止します。
- ・再生中放送があったときは、録音を行いません。録音したいときは、録音ボタンを押下してください。

● 放送を再生する

- ・再生するときには、再生ボタンを押下してください。一番新しい放送から再生します。
再生中は、再生ランプ(赤)が点灯します。
- ・再生中に再生ボタンを短く押下(0.5秒以下)すると、次の放送にスキップします。
長く押下(0.5秒以上)すると停止します。
- ・未再生の放送があるときは、再生ランプ(赤)が点滅します。
- ・放送中は再生ボタンを押下しても、再生しません。

● 通報する

端末監視サービスがある場合、有効となります。

- ・連絡ランプ(オレンジ)の点滅時、連絡ボタン押下指示が放送された場合、連絡ボタンを押下してください。
- ・非常時、連絡ボタンを押下することにより、端末監視装置に緊急信号を送出することができます。

<電話接続時の操作>

●発信する

アナログ電話機から通常の電話と同様に受話器を上げ、相手の電話番号をダイヤルします。
(ダイヤル入力桁数は最大32桁です。)

発信の終了は、通常の電話と同じく受話器を置くと切断されます。

VoIP回線と公衆網の選択発信が可能です。

(詳細は指定の問合せ窓口または弊社サービス部門、販売店にお問合せください。)

※発信回線選択の設定によっては、通常の電話と同じ電話番号ではつながらない場合があります。詳しくは指定の問合せ窓口または弊社サービス部門、販売店にお問合せください。

●着信する

通常の電話と同様に着信音が鳴りますので、受話器を上げ通話します。

着信の終了は、通常の電話と同じく受話器を置くと切断されます。

※着信音は電話回線とVoIP回線で違う鳴動時間に設定できます。

詳しくは指定の問合せ窓口または弊社サービス部門、販売店にお問合せください。

2. 各種サービス

契約形態によっては、サービスの内容が変わるものや使用できないサービスがありますので、ご注意ください。

2-1 告知放送サービス

告知放送を聴取することができます。緊急時の放送は、強制的に最大音量で聴取することができます。

○ 告知放送録音

告知放送中に録音ボタンを押下すると、現在の放送を録音できます。

待機中に録音ボタンを押下しておく、次回の告知放送を録音することができます。

2-2 IP電話サービス

○ 地域外IP電話

・ インターネットサービスプロバイダ事業者のSIPサーバを用いることで、地域内／地域外問わずIP電話が利用できます。

○ 地域内IP電話

・ センタ局にSIPサーバを設置することで、地域内でIP電話が利用できます。

○ 電話機、事業者機能継承

・ 公衆回線で既にナンバーディスプレイ・Lモードなどのサービスを利用されていても、その機能を損なうことなく継続して利用可能です。

○ 自動発着信切替え

・ 発信する番号によりIP電話と公衆回線の切替えを自動的におこないます。
また着信の場合は着信音を変えてリンガーを鳴らします。
また、110番・119番などの特別番号は自動的に公衆回線を使用します。

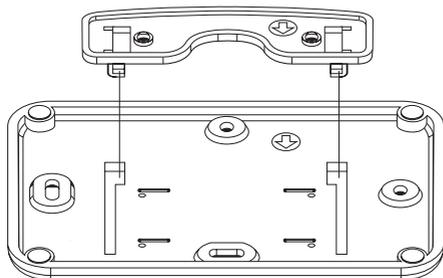
2-3 端末監視サービス

センタに端末監視装置を設置することにより、告知端末からの放送確認および緊急連絡の管理ができます。

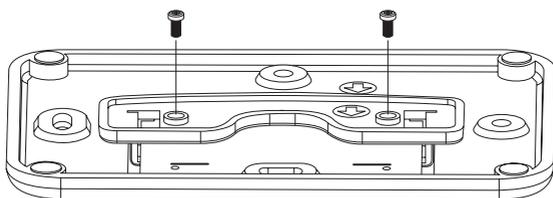
III章 組み立て方法

1. 壁掛け（オプション）

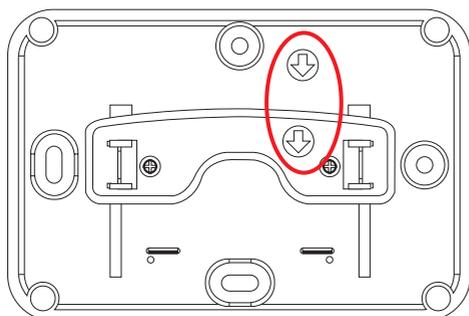
注）別途、専用の取付け板キットの購入が必要です。

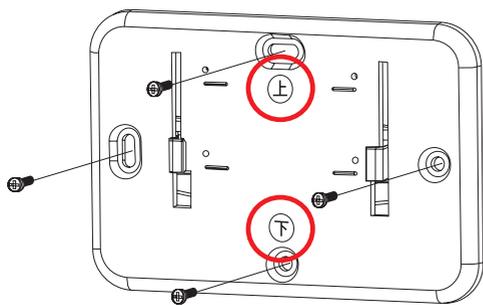


添付のねじ二本で固定してください。



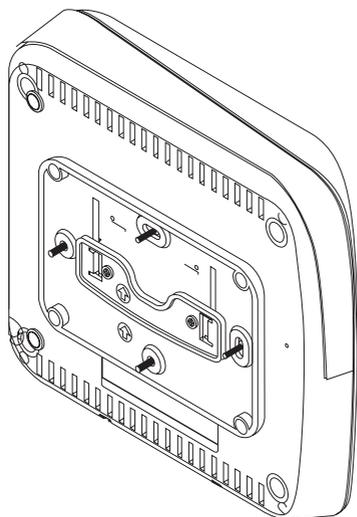
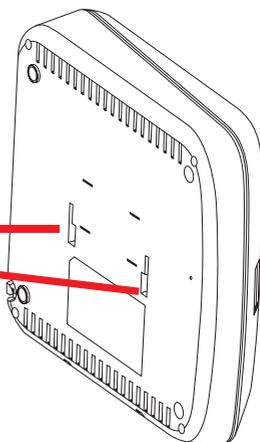
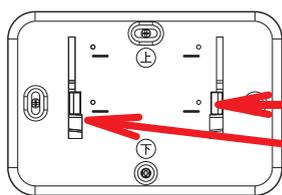
マークの向きを合せてください。





「上」の文字が上、「下」の文字が下になるように固定板を壁にしっかりと固定してください。

ねじは固定する壁に適したものをご用意願います。



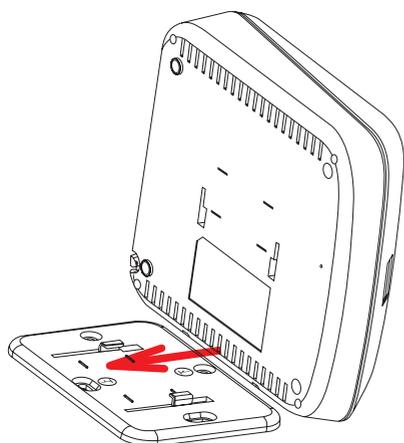
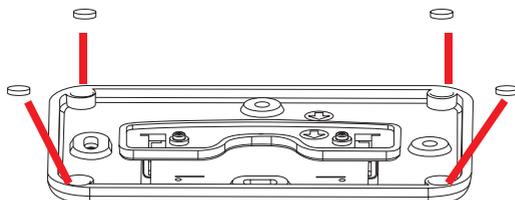
壁に固定した板の耳に本体の溝をいれ下にスライドさせてください。

2. 自立（オプション）

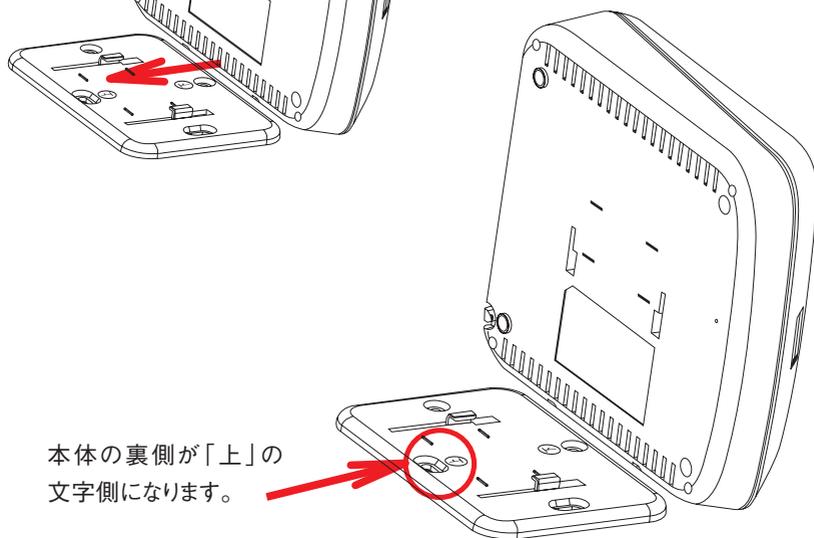
注）別途、専用の取付け板キットの購入が必要です。

壁掛固定板と同様に固定板を組立ててください。

ゴム板を図のように貼り付けてください。

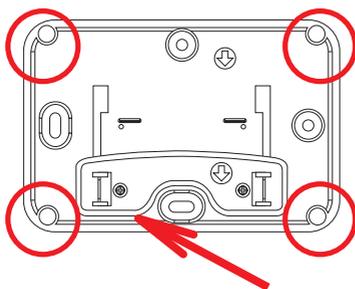


本体側面の溝を固定板の耳に入れて
スライドさせてください。

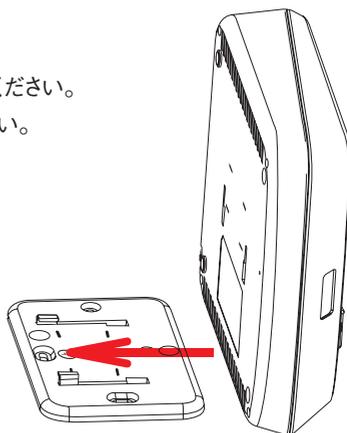


本体の裏側が「上」の
文字側になります。

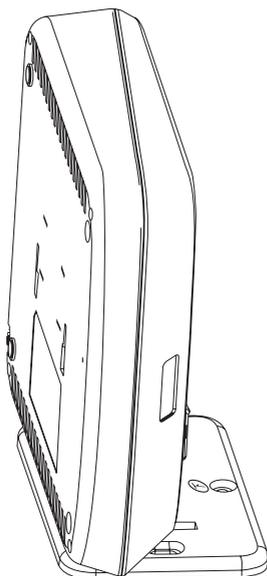
図の位置に引掛け部材をねじ固定してください。
ゴム板を図の丸印部に貼り付けてください。



引掛け部材



本体をスライドさせてください。



付 録

1. 故障かな?と思ったら

お問い合わせの前に、もう一度、下記項目を確認してください。

症状	原因
全く動作しない	<ul style="list-style-type: none">・電源は入っていますか。(電源ランプで確認)・電源コードは装置に正しく差込まれていますか。・ACアダプタは、装置およびコンセントに正しく差込まれていますか。
発信ができない	<ul style="list-style-type: none">・電源ランプは点灯していますか。・正しいポートに正しく接続され、WANポートはLINK確立していますか。(WANランプで確認)・電話機のダイヤル番号は正しいですか。 (TELポートはアナログ電話機の設定、電話回線は契約によります。)
着信しない	<ul style="list-style-type: none">・電源ランプは点灯していますか。・正しいポートに正しく接続され、WANポートはリンク確立していますか。 (WANランプで確認)・電話機での着信音設定が鳴動OFFになっていませんか。
FAX通信ができない	<ul style="list-style-type: none">・電源ランプは点灯していますか。・G3のFAXですか。

2. 仕様一覧

寸法	198(W)×225(D)×58(H) [mm]
質量	約900[g] (本体)
消費電力	AC100[V] 50/60[Hz] 10[W]以下
設置方法	据置き <small>※縦置き、壁掛けについては、オプションの専用の取付け板キットが必要です。</small>
使用環境	0°C～40°C

TELポート	インタフェース	一般アナログ電話機 RJ11
	選択信号	PB、DP(20pps)、DP(10pps)
	接続数	1台のみ
WANポート	インタフェース	10BASE-T、100BASE-TX
LANポート	インタフェース	10BASE-T、100BASE-TX
LINEポート	インタフェース	一般アナログ電話回線 RJ11
	選択信号	PB、DP(20pps)
外部スピーカ	インタフェース	3.5φ ミニジャック × 1ポート
外部接点 <small>※DIDO搭載モデルのみ</small>	インタフェース	入力:4接点、出力:4接点
CODEC	放送	G.711、G.722
	IP電話	標準G.711(G.729a対応)
IP電話プロトコル	—	SIP
放送チャンネル	—	4チャンネル
電話番号桁数	最大32桁	

この装置は、クラスB機器です。この装置は、住宅環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。

取扱説明書に従って正しい取り扱いをして下さい。

V C C I - B